

令和 7 年度 事業報告書

学校法人 阿弥陀寺教育学園 概要

1. 代表者 理事長 宇野弘願
2. 法人本部 千葉県市原市能満字崩山 1554-4
3. 設立 昭和 61 年
4. 事業内容 幼稚園、専門学校の運営及教育に付帯する事業
5. 沿革（専門学校）

平成 10 年 4 月	国際医療福祉専門学校（千葉校）	救急救命学科開講 精神保健福祉学科開講
平成 10 年 4 月	新国際福祉カレッジ（千葉県四街道市）	介護福祉学科開講
平成 16 年 4 月	国際医療福祉専門学校（千葉校）	理学療法学科開講
平成 16 年 4 月	京葉美容福祉専門学校（千葉県市原市）	美容福祉学科開講
平成 19 年 4 月	国際医療福祉専門学校（石川県七尾校）	救急救命学科開講 理学療法学科開講 作業療法学科開講
平成 23 年 4 月	国際医療福祉専門学校（岩手県一関校）	救急救命学科開講
平成 24 年 4 月	国際医療福祉専門学校（七尾校）	介護福祉学科開講
平成 26 年 4 月	国際医療福祉専門学校（一関校大東校舎）	理学療法学科開講
令和 3 年 4 月	国際医療福祉専門学校（千葉校）	理学療法学科より リハビリテーション学科へ名称変更 作業療法学科開講

募集停止

平成 18 年	京葉美容福祉専門学校	美容福祉学科
平成 24 年	千葉校	精神保健福祉学科
平成 31 年	七尾校	作業療法学科
令和 4 年	七尾校	介護福祉学科

学校法人 阿弥陀寺教育学園 国際医療福祉専門学校七尾校 概要

国際医療福祉専門学校七尾校

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町西部1番地

学 校 創 立 ●昭和61年3月17日

専修学校認可●平成19年2月27日

法 人 許 可 ●昭和61年3月17日

設 置 者 名 ●学校法人 阿弥陀寺教育学園

校 長 名 ●由久保弘明

校 舎 面 積 構造/鉄筋コンクリート造（一部木造）

●4923.00 m²

学 生 寮 ●小丸山寮 七尾市藤橋町西部1番地1

後畠寮 七尾市後畠町チ22-7

大和寮 七尾市和倉町ひばり3丁目96-2

小島寮 七尾市小島町ハ部151-1

石崎第1寮 七尾市香島2丁目115-1

石崎第2寮 七尾市香島1丁目79

沿革

平成18年4月28日 専修学校国際医療福祉専門学校七尾校設置申請

平成18年9月28日 理学療法士・作業療法士・救急救命士養成施設指定申請

平成19年2月27日 厚生労働省指定救急救命士養成所認可

（厚生労働省発東海厚第0227001号）

平成19年2月27日 厚生労働省指定理学療法士・作業療法士養成施設認可

（厚生労働省発東海厚第0227002号）

平成19年3月27日 石川県より専修学校設置認可（石川県指令総第4577号）

平成19年4月1日 国際医療福祉専門学校七尾校開校

平成19年4月9日 第一回入学式

平成21年3月12日 第一回卒業式

平成25年3月21日 厚生労働省指定介護福祉士養成施設認可（東海厚発0321第53号）

平成25年4月1日 介護福祉学科 開設

平成25年4月1日 介護実務者研修科 開設

募集停止

平成31年 作業療法学科

令和4年 介護福祉学科

国際医療福祉専門学校七尾校

【教育目標】

本校の教育目標は保健・医療・福祉，そして救命領域で広く社会貢献できる理学療法士，救急救命士，介護福祉士を育成することにあります。また，優しい人間性を重視した人材教育を実施し，他者に対していたわりと思いやり，愛情を持った専門職を育成します。

【各学科の特色】

（１）理学療法学科

理学療法は，対象者の身体的な機能回復を通して，彼らの社会的自立と QOL の向上を図るものです。保健医療福祉の中核的な職種として，理学療法士は臨床現場で活躍しています。社会は，専門職チームにおける理学療法士の目的・役割をますます重要と位置づけてきています。理学療法学も今後急速に EBPT（根拠に基づいた理学療法）のデータベースを蓄積していきます。そうすることで，個々のニーズにあったサービスを提供することに還元されます。当科では，科学性と人間性を兼ね備えた理学療法士の育成を目指します。

（２）救急救命学科

突然の病気や事故，災害などの際，救急現場や救急車の中で行われる医療処置がプレホスピタル・ケアであり，その担い手が救急救命士です。傷病者の状態をいち早く的確に把握し，医師の指示のもとに救急救命措置を行うことができる救急救命士は，救急医療の現場で極めて重要な役割を担っています。当科では３年間でより深い知識と技術を学ぶとともに実習に力を入れて教育します。

令和7年度 活動内容

1. 各学科の報告について

【理学療法学科】

①講義・実習関連

- ・石川県リハビリテーションセンター1日体験・講義（1年生）
- ・オープンキャンパスの学生スタッフとして参加（2年生）
- ・パーキンソン病友の会の方を招いての模擬臨床実習体験（2年生）
- ・校内デイサービス利用者の方を招いての模擬臨床実習体験（2年生）
- ・校内デイサービスにおける学生スタッフとして参加（1年、2年生）
- ・福祉住環境コーディネーター2級の取得を目指す（2年生全員）
- ・1年次前期より一般漢字や医学漢字、基礎数学などを通して再学習すべき内容を取り入れて行っている。その他、計画的に物事を進める能力が乏しい学生が多く、先を見据えて行動できるようスケジュール管理の指導も積極的に取入れて行っている。

②国家試験関連

* 班学習もしくは二人以上で学習を行うよう指導を徹底し、その他には実地問題対策にかけける時間数を増やした結果、実地問題の得点率の平均が約70%であり、一定の効果があつたと思われる。実地問題対策として臨床推論を中心とした考えのOutputする環境を整えることが大事であり、問題解決能力をアップさせる指導を3年次の指導はもちろんであるが、早期の1年次、2年次からも指導を徹底する。

【救急救命学科】

①講義・実習関連

1) 社会人としての意識付け

今年度、資器材拡充を図った際に、資器材庫内の清掃整備と員数点検を実施し、資器材の正しい取り扱いと点検・清掃、片付け方法を指導した。

消防や医療機関に就職する以前に社会人として、髪型や身だしなみ、挨拶、清掃整備の重要性について指導した。

2) 救急救命士としての意識付け

消防及び病院就職の意識付けを行うために、救命士会主催の救急技術指導会等の参加やドクターヘリ見学といった課外実習、心肺蘇生法講習会の実施を計画している。

3) 医療従事者との交流、自覚の芽生え

能登総合病院・金沢医科大学病院で行われているトリアージ訓練等に患者役として参加、メディカルラリーやJPTECなどへ積極的に参加し、病院関係者・消防関係者とのコミュニケーションを含めた接遇能力の向上、救急分野の知識と技術の向上を図らせることを計画している。

②国家試験関連

＊例年消防就職のための公務員勉強が4月から本格化する。早い試験で6月末に公務員試験があり、遅い試験では10月初旬に公務員試験が実施される。公務員試験対策（勉強・体力錬成）に加え、救急救命士の国家試験勉強を両立することが、毎年の課題であると感じた。今年度は10月の受験を終えた後、国家試験対策を本格化させ、グループ別の学習を3ヶ月間継続した結果、全員合格となった。

系列3校での模擬試験の実施やJ E S A（救急救命士施設協議会）模試試験を実施したことにより、現状の立ち位置を客観的に比較できたことは学生にとって良い刺激となり、継続して勉強をしていかなければならないと実感していたように感じる。

例年の反省となっているが、学生の学力に応じて公務員試験期間中であっても、定期的な国家試験対策を行っていき、解剖・生理学については、10月までに理解しておくように指導していくことが必要となる。

3. 学生募集

高校訪問は資料請求者等を中心に行った。高校ガイダンスについてはできる限り参加することで対面での学生募集に力をいれた。SNSでの施策や、高校訪問を担当者制にし、印象を強くしていくように努めた。

【資料請求者数の動向】

YouTubeでの動画配信やInstagram等のSNSを充実させた広報活動も行った結果、昨年度と同程度の資料請求数を確保できた。

4. 地域貢献

1) 学内デイサービス『みんなの教室』の実施状況について

七尾市総合事業における基準緩和型運動型のデイサービス

＊2017年開設 毎週火曜午前（風呂・食事は無し）

毎回一定数の学生を、補助スタッフとして常時関わらせており、情意面や実技などの教育にも活用できている。

昨年位引き続き、学内実習の場としても活用できている。

2) 地域交流

・パラスポーツ体験イベントのボランティアスタッフとボッチャ選手権の競技スタッフとして参加

以上